

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）交付申請書・支払請求書

チェックリスト（研究機関用）

このチェックリストは「交付申請書・支払請求書」の記入等の誤りをなくし、修正等の事務手続きを軽減するため、その記載事項の主な確認点をまとめたものです（作成上の注意も併せてご確認ください）。

「交付内定一覧」等に基づき個々の研究課題について「交付申請書・支払請求書」を作成した後、このチェックリストにより確認し、提出してください（チェックリストの提出は不要です）。

1. 全般的事項

チェック	チェックの観点	備考
	電子申請システムで作成した最終版となっているか。	<ul style="list-style-type: none">・電子申請システムを使用して作成してください。・両面印刷されているかを確認してください。・紙媒体に表示されている版数が、システム上の最終版の版数と一致しているか確認してください。
	文字化けや誤字・脱字がないか。	電子申請システムは、JIS 第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントに対応していません。 ※入力画面上は正しく表示されても、書類出力時に文字化けを起こします。

2. 交付申請書（様式D-2-1）

2～5頁を参照してください。

3. 支払請求書（様式D-4-1）

6～7頁を参照してください。

全ページが電子申請システム上の最終版の版数と一致するか。
版数を手書き修正していないか。

平成29年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）交付申請書

独立行政法人

平成29年 ○ 月○○日

日本学術振興会理事長 殿

所属研究機関の本部の所在地及び名称	〒○○○-○○○○ 東京都○○区○○2-5-1		
	名称 ○ ○ 大 学		
所属研究機関の長の職名・氏名	職名 学 長	氏名 ○ ○ ○ ○	
研究代表者の部局名（番号）・職名（職番号）・研究者番号	部局番号： 5××	職番号： 20	研究者番号：
	部局名 ○○研究科	職名 教授	10234567
フリガナ	○ ○ ○ ○		
研究代表者の氏名	○ ○ ○ ○		印

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（C）（一般））について、次のとおりを申請します。
 なお、交付された助成金は、交付条件に従い適正に使用します。

署名または押印されているか。

研究課題名	○○の××に関する総合的研究
-------	----------------

補助事業期間	平成29年度 ～ 平成31年度
--------	-----------------

助成金額（交付予定額）	直接経費合計①		間接経費合計②			直接経費と間接経費の合計（①+②）	
	4,400,000 円		1,320,000 円			5,720,000 円	
年度別・費目別内訳	直接経費（円）					間接経費（円）	
	物品費	旅費	人件費・謝金	その他	計		
平成29年度	1,500,000	300,000	200,000	200,000	2,200,000	660,000	
平成30年度	700,000	200,000	0	300,000	1,200,000	360,000	
平成31年度	600,000	200,000	0	200,000	1,000,000	300,000	
平成32年度	0	0	0	0	0	0	
平成33年度	0	0	0	0	0	0	
合計	2,800,000	700,000	200,000	700,000	4,400,000	1,320,000	

主要な物品の内訳（1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの）

品名	仕様（製造会社名・型）	数量	単価（円）	金額（円）	納入予定時期
ワークステーション	LVB 20XX-TK/RN	1	800,000	800,000	平成29年8月
ワークステーション	LCB XXXX-TK/RN	1	1,000,000	1,000,000 (500,000)	平成29年10月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月

ページに飛びがないか（全ページ揃っているか）。

キーワード	①環境政策	②環境分析	③	④	⑤
機関番号	12345	研究種目	基盤研究（C）（一般）	課題番号	17K3
経費管理担当者・部局・職・氏名	部局・職 ○○課 ○○係長	氏名	○○○○		

(注)・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷すること。

補助事業者	研究者番号	機関番号	部局番号	職番号	補助事業期間全体を通じた役割分担等 〔補助事業期間全体を通じた研究実施計画に対する分担事項等を具体的に記入すること。〕	補助事業期間全体を通じた直接経費 (研究者別内訳) (円)
	氏名	所属研究機関・部局・職				
研究代表者	1 0 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 5 × × 2 0			研究の総括と〇〇のモデル化	2,500,000
	〇 〇 〇 〇	〇〇大学・〇〇研究科・教授				
研究分担者	1 0 4 5 6 7 8 9	1 2 3 4 5 5 × × 2 0			▲▲資料の構成と分析	800,000
	▲ ▲ ▲ ▲	〇〇大学・〇〇研究科・教授				
研究分担者	1 0 3 4 5 6 7 8	1 2 3 4 5 5 × × 2 7			□□データの解析	600,000
	□ □ □ □	〇〇大学・〇〇研究科・准教授				
研究分担者	2 0 4 5 6 7 8 9	1 2 6 8 0 6 × × 2 7			●●に関するシミュレーション 〔分担者を追加する理由〕 研究計画に予定していなかった●●に関するシミュレーションが、研究環境の変化により研究遂行上必要となったため。	500,000
	● ● ● ●	●大学・●学部・准教授				
削除	3 0 5 6 7 8 9 0	1 2 6 8 0 6 × × 2 7			〔分担者から外す理由〕 本年4月1日付で米国〇〇研究所へ異動することとなり、応募資格を喪失したため。	
	△ △ △ △	●大学・●学部・准教授				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>□変更が必要となる研究上の理由が具体的に記入されているか。</p> <p>【研究分担者を「追加」する場合の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究遂行上〇〇〇〇〇の調査が必要となったため。 研究分担者から外れる〇〇〇〇〇が行う予定だった〇〇の調査について、代わりに実施するため。 <p>※単に「科研費応募資格を得たため」など、研究遂行上必要な理由が述べられていないものは不可</p> <p>【研究分担者を「削除」する場合の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 退職し、科研費応募資格を喪失するため(転出先:〇〇病院)。 退職し、科研費応募資格を喪失するため(転出先:なし)。 〇〇大学へ転出し、科研費応募資格は有するが、遠方のため連携が困難となるため。 <p>※所属機関の変更(退職含む)がある場合は、変更後の科研費応募資格の有無およびその変更先も可能な限り記入すること</p> </div>						
補助事業者合計 (小計)		4 名			直接経費合計 (小計)	4,400,000

全ページが電子申請システム上の最終版の版数と一致するか。
版数を手書き修正していないか。

機 関 番 号				
1	2	3	4	5

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）支払請求書（平成29年度）

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

署名または押印されているか。

所属研究機関・部局・職

研究代表者 ○○大学・○○研究科・教授
 氏 名 ○ ○ ○ ○

印

さきに交付の決定の通知があった科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（C）（一般））のうち平成29年度分について、下記により概算払で支出して下さるようお願いします。

記

1 課題番号

1	7	K	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---	---

2 補助事業期間 平成29年度～平成31年度

直接経費の請求額が300万円以上の場合、前期分と後期分を分けて10万円単位で記載されているか。

3 請求額

	直接経費の額	間接経費の額	合計
平成29年度請求額（a + b）	3,000,000 円	900,000 円	3,900,000 円
うち前期分（4月～9月）請求額（a）	1,800,000 円	540,000 円	2,340,000 円
うち後期分（10月～3月）請求額（b）	1,200,000 円	360,000 円	1,560,000 円

注) 直接経費の平成29年度請求額（a + b）が300万円未満の場合は全額前期分に計上し、300万円以上の場合には前期分（a）と後期分（b）を分けて記載すること。

ただし、国際共同研究加速基金については、前期分（a）と後期分（b）に分けずに記載すること。

また、上記科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）の受領方を

研究機関名（注）： ○ ○ 大 学 （学校法人□□□□）

研究機関代表者職・氏名： 理事長・○○○○

に委任いたします。

注 学校法人理事長に助成金の受領を委任する場合には、研究機関名に大学名とともに（ ）書きで学校法人名を記入すること。大学長に助成金の受領を委任する場合には

ページに飛びがないか（全ページ揃っているか）。

様 式 D-4-1 別紙 (補助事業者一覧)

補助事業者	研究者番号							機関番号			部局番号	職番号	本年度の役割分担等 (本年度の分担事項等を具体的に記入すること)	本年度の エフォート (%)	本年度の 直接経費 (研究者別内訳) (円)						
	氏 名							所属研			□役割分担の内容が具体的に記載されているか。 ※「実験」「分析」等のような単語のみの入力はしないこと ※研究代表者が一人で行う場合は「研究全般」等で構わない										
研究 代 表 者	1	0	2	3	4	5	6	7	1	2	3				40	1,500,000					
	○ ○ ○ ○							○○大													
研究 分 担 者	1	0	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	5	×	×	2	0	▲▲資料の構成と分析	20	700,000
	▲ ▲ ▲ ▲							○○大学・○○研究科・教													
	1	0	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	5	×	×	2	7	□□データの解析	40	500,000
	□ □ □ □							○○大学・○○研究科・准													
	2	0	4	5	6	7	8	9	1	2	6	8	0	6	×	×	2	7	●●に関するシミュレーション	15	300,000
	● ● ● ●							●大学・●学部・准教授													
補助事業者合計 (小計)										4 名			直接経費合計 (小計)	3,000,000							

(課題番号 : 1 7 K 3 4 5 6 7)

(注) ・印刷に当たっては、A4判 (縦長) ・両面印刷すること。